

# 宮前 里づくり計画

快適で住みよい田園環境の広がるまち



宮前地区の景観作物（コスモス）

平成 12 年 5 月

宮前里づくり協議会

宮前里づくり計画 目次

宮前里づくり計画策定にあたって	2
I 地域の概況	3
(1) 対象地区の位置及び区域	3
(2) ほ場整備事業の概況	3
ア) 土地改良事業 経過	
(3) 地域の史跡	3
ア) 春日神社	
(4) アンケート調査 (平成 11 年 9 月実施)	4
ア) アンケート結果の概要	
イ) アンケート結果	
II 計画策定の基本方針	13
III 計画地区の農業の振興に関する計画	13
(1) 現況	13
(2) 稲作栽培計画	14
ア) 水稲栽培の目標	
イ) 栽培作業の合理化	
(3) 野菜栽培計画	15
ア) 野菜栽培の目標	
イ) 土づくり	
ウ) 栽培品目	
エ) 販売対策	
(4) 後継者・U ターン就農者の確保	15
IV 土地利用計画	16
(1) 農業保全区域	16
(2) 環境保全区域	16
(3) 集落居住区域	16
(4) 土地利用計画図	17
IV 環境整備計画及び活性化計画	18
(1) 国道 175 号線拡幅対策	18
(2) 道路整備計画	18
(3) 公会堂整備計画	18
(4) 集落下水道整備計画	18
(5) 河川の清掃	18
(6) ため池の改修と魚釣りマナーの向上	18
V 景観保全計画	19
(1) 春日神社を中心とした景観の保全	19
(2) ハイキング・散策コースの整備	19
(3) 通学路周辺の花壇・花畑の整備	19
(参考資料)	
地域点検マップ	20
アンケート調査クロス集計	23
アンケート自由意見	26
宮前里づくり協議会活動経過	27
宮前里づくり協議会規約	28
宮前里づくり協議会役員名簿	30

## 宮前里づくり計画策定にあたって

宮前里づくり協議会会長  
井嶋 日出生

里づくり協議会の活動については、前からの引継ぎ事項として集落で話しは出ていましたが、設立の手続き上のことからのびのびになっていました。

平成11年度に入り、まずは役員を決めることから始め、その後西農政事務所の方を交えて何度となく意見を交換して、平成11年7月にやっと神戸市の設立の認定を得ることが出来ました。

その後土地利用の問題を中心に里づくり計画を検討しようということが決定され、まず手始めに全家庭にアンケートを実施、そして農政事務所の方と記録写真を撮るなどして宮前を見て回りました。

その結果、宮前は早くからほ場整備事業がされており、田の土も上質なものになっています。最近は下水道も完備され、水路もきれいになり、時折タニシやメダカを見ることも出来ます。近くの小学生や幼稚園、児童館の子供の声もあちこちで聞かれ、まずは平穏な集落と思われれます。

しかし、最近になって休耕田とほ場整備事業が出来ていない農地で荒地が特に目についたり、175号線の拡幅に伴う建物の移転や境界線を巡ってのトラブル、また新しく建設される物件についての調整など、新たな問題も出てきています。アンケートで最も憩いのある場所としてあがった春日神社周辺のゴミの不法投棄も悩みの種であります。

こうした問題も少しずつ出来ることから解決していくためにも、これからも皆様の協力を得て里づくり活動を続けていきたいと思ひます。

## I 地域の概況

### (1) 対象地区の位置及び区域

計画対象地区である宮前地区は、平野町の中ほどに位置し、集落の中心部に優良農地が広がり、東部周辺は西神ニュータウンにつながる里山が、また西部には明石川が流れ、ほぼ中ほどを国道 175 号線が通過している。

当地区には神戸市の西区西神出張所平野連絡所、小学校等があり、平野町の要衝として昔から中心的な位置付けとなっている。

本計画の計画対象区域は、宮前集落の全域とする。

総戸数	総人口	農家戸数	農家人口
46 戸	201 人	19 戸	93 人

### (2) ほ場整備事業の概況

#### (ア) 土地改良事業 経過

着手年月日	S43.11. 1
完了年月日	S44.12.20
工事完了公告	S45. .
換地処分公告	S45.10. 2

### (3) 地域の史跡

#### 春日神社（宮前字宇留山）

神社の言い伝えによれば、用明天皇 2 年（587）の創立と伝えられる。「延喜式」明石郡 9 座のうちに宇留神社、「播磨国内神名帳」明石郡 13 社宇留明神とあるのが当神社とされている。中世に奈良の春日神社と同神のゆえに春日神社と改めた。

春日神社の氏子地は西戸田、宮前、大畑、印路の各地区である。

春日神社はもとは「宇留之宮」ともいわれ、平野慶明宇宮山にある八幡神社とともに由緒ある神社である。

春日神社の主な祭典行事は四月三日の節句祭、十月十日の秋祭りであり、これらはいずれも新暦によって変更された祭日である。

この秋祭りには神輿だんじり太鼓、西戸田地区だんじり太鼓、宮前地区だんじり太鼓とがある。大畑地区より獅子舞の奉納が約四十年ぶりに復活されている。

平野町の秋祭りとしては、この春日神社の秋祭りが最も大きな祭りである。

またこの神社には近在随一の「能舞台」が現存する。このような構造の能舞台は明石、垂水、三木、美嚢、淡河を通じて最大級のものといえる。

#### (4) アンケート調査（平成 11 年 9 月実施）

##### (ア) アンケート結果の概要

平成 11 年 9 月に「農業」や「農地」、「生活環境」等に対する住民の思いを把握するためにアンケート調査を実施し、147 名（男 74 女性 69 名不明 4 名）の回答を得ました。

集計結果の実数は次ページに、意見及びクロス集計は巻末の参考資料に掲載をしました。

アンケート調査の概要としては、回答をいただいた世代別では三十歳台の方の回答が他の世代に比べて少なかった。これは地区の人口構成としても少ないのと、地区との関わりが一番希薄になる世代でもあるのかと考察される。

宮前地区の農家世帯の率が少ないこともあって、「ほとんど農業に関わりがない」という回答者が多いのが目立ち、結果として収入について圧倒的に農外収入が多くなっている。

農産物の販売はほとんどが「米」で、地区で栽培されている野菜は専業農家（2 戸）以外は自家消費が主体である。

今後十年程度先の生計については、現在の兼業状況を継続する方向が中心であるが、農業をやめるといふ農家もある。

今後の農業経営は「現状維持」もしくは「縮小」が大半で、規模拡大は望まれていない。経営内容の変更としては、「施設園芸、貸し農園」への希望があり時流にあった方向と見られる。

農業の後継については「農業をやめたい」と思っている農家意外は「継がせたい」という意思をもっているようであるが、後継者が未定であったり、後継者がいないという今後の問題も。

1 戸当たりの農地面積が多い中で、所有農地の将来の利用方法については「今後十年程度は周囲の状況を見て決める」という意見が多く「今後転用するつもりなし」とあわせると 80% と高い比率であり、一部転用の中には今後客観的に見て必要なものも含まれていると思われることから、宮前地区の土地所有者は「農地保全指向」が強いと見られる。

農業機械に対する考えについては、農業機械に対する投資の不効率性が浸透しつつあるのか、「機械の貸し出し制度や同利用機械の共同化、農作業の請負」の希望が多い。

農地の利便性については、ほ場整備事業完了地区にありながら、以外に「区画が狭くて不整形である」とする意見が多かったが、未整備の農地が集落の南側の区域を中心に結構多いのではないかと推察される。また農地の水はけの問題も指摘が多い。

外出先や交通手段は宮前地区の位置関係から「西神中央への自家用車による外出」が多いという順当な結果がでていいる。

日頃危険を感じておられることについて、「交通事故」と「防犯灯の少なさ」が指摘されていることも西区の市街化調整区域での特有の問題である。

健康、衛生面の問題についても「蚊、ハエ」「ゴミの不法投棄」が西区の他の地区と同様に高いが、国道等の幹線道路に集落が接していることから、「騒音、振動がひどい」

という意見が多いのが特徴的である。

日頃便利が悪くて困ることとして、「バス等の交通機関の不便さ」や「買い物、医療施設の不便」が目立つ。一方で「特に無い」と答えた人の率も高い。クロス集計の結果では、やはり若い人に「特に不便は無い」という人が多いが、それほど顕著な結果でもない。

日頃、快適な生活という面で不満を感じておられることについては、「ごみの不法投棄」が圧倒的に多く、地区内の道路密度が高いことにも比例している。これだけ「ゴミ不法投棄」に対する住民の意識が高いということであるので、今後地域で何らかの対応を考えていく必要がある。

生活環境を快適にするために今後どのようなことが必要かという項目に対しては、農村地区の特徴である「街路灯の整備」や「公園、運動広場の整備」がやはり高い率で指摘されているが、「植栽や花壇を増やしてきれいな町並みに」という意識を持っておられる方が以外に高い率であげられている。この件も住民の工夫で何とか対応できないかと考える。

都市化の進展や、一般住宅・各種の工場等の進出については都市化の副作用として「交通事故の増加」や「農業用水・農村風景の破壊」の心配をあげる人も多いが、「生活が便利になる」ことでの肯定的な捕らえ方をする意見もあることから、当地区では秩序ある「開発と保全」が求められる。

「農地が広がり、農業が営まれていること」については、農家の率が低く、農業に関わりの無い住民が多いなかで、「農地・農業が地域にとって良い環境をつくりだしている」という意見が多いことは今後の「里づくり」を進めるうえで心強いが、「農地等の管理の不十分さ」によるマイナス面の指摘も高い。

今後の土地利用や地域整備のあり方としては「農地はすべて保全」「転用は一定区域内に限り、他は農地として保全」が高率である。

開発の種類による容認については、「分家住宅等」、「公共施設」の他に、住民の利便性を高める「日用品販売施設」も希望が多い。

所有地の新たな土地利用計画については、アンケートでは13件という数字があがっているが、具体的に数件程度と見られる。

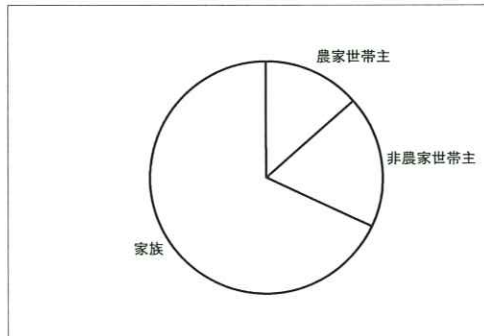
総じて、当地区は典型的な西区の農村地域と思われ、結果として「農地・農業が地域にとって良い環境をつくりだしている」という意識に基づいて「保全」を指向する姿勢は強いが、一方で非農家や高齢者も多いことから「利便性」を要望する意向も強い。

国道や県道平野線が通過したり、西区の連絡所や小学校という公共施設をかかえる平野の中心的な地区でもあることから、今後とも「秩序ある開発と保全」が求められる。

(イ) アンケート調査結果

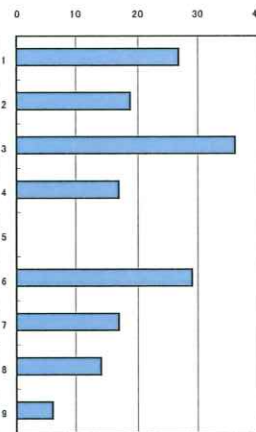
アンケートに答えていただいた方

農家世帯主	20
非農家世帯主	27
家族	100
合計	147



アンケートに答えていただいた方の職業

農業	27
工場、商店等の自営業	19
公務員、会社員等の恒常的な勤め	36
パートなどの臨時的な勤め	17
アパート経営などの不動産収入	0
年金、仕送りなど	29
専業主婦	17
学生	14
その他	6
合計	165



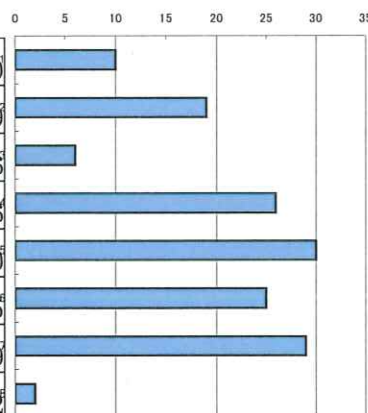
回答者の性別

男	女	不明	合計
74	69	4	147

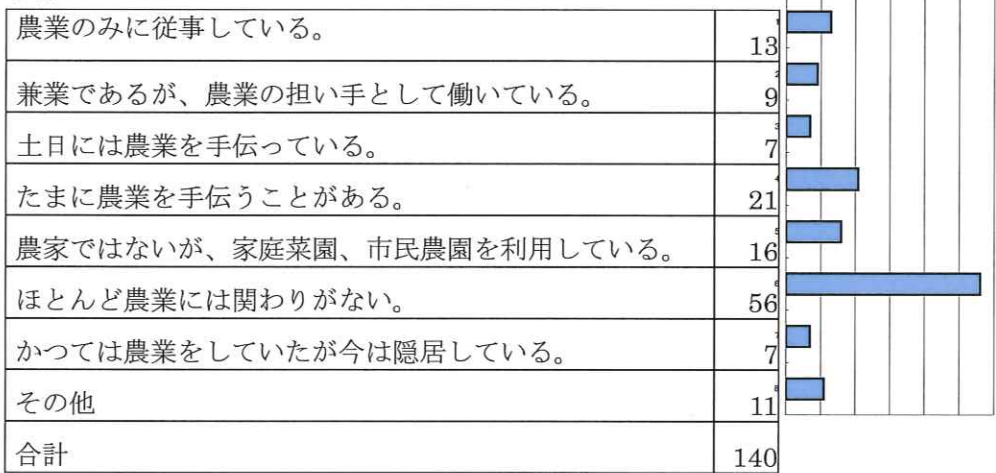


回答者の年齢別

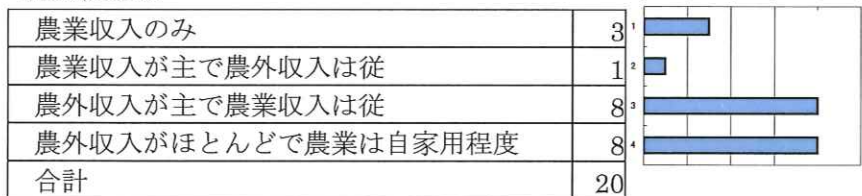
20才未満	10
20才～29才	19
30才～39才	6
40才～49才	26
50才～59才	30
60才～69才	25
70才以上	29
不明	2
合計	147



農業とのかかわり



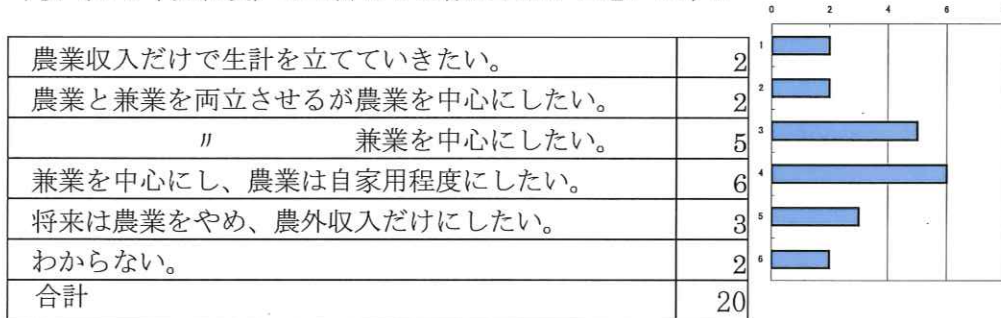
専業兼業別



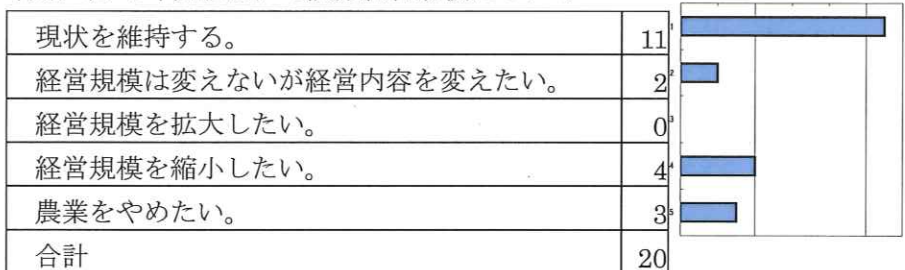
この一年間で販売金額が最も多かった作目

販売なし	4	路地野菜	0
米	14	花き、花木等	0
施設野菜	1	その他	0

今後（10年先程度）の生計をどの様になりたいと思いますか



将来（10年先程度）の農業経営規模について





「内容を変えたい」

稲作中心の経営でいく。	0
畑作物に力を入れる。	0
ハウス野菜など施設栽培を増やしたい。	1
花き・花木などの施設園芸を増やしたい。	0
観光農園や貸し農園（市民農園）の経営を行う。	1
酪農・畜産に力を入れる。	0
その他	0
わからない。	1
合計	3

「拡大したい」

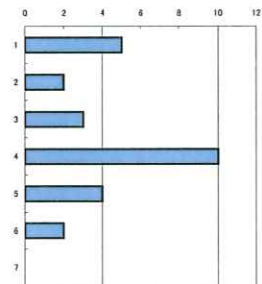
借り入れて拡大したい。	0
購入して拡大したい。	0
一部の作業を受託する。	0

「縮小したい」

農地として貸し付ける。	3
売却または転用する。	1
一部作業委託する。	3
荒しておく。	3

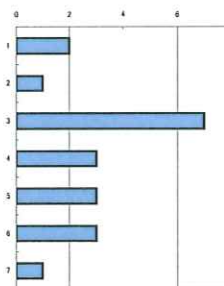
農協等や生産組合による組織があれば委託するか

農協等が請け負ってくれるのであれば、委託したい。	5
生産組合があれば経営に参加したい。	2
生産組合が組織されれば、農地を委託したい。	3
当分の間は自分で耕作、委託にださない。	10
農地を委託したいが、あとが心配。	4
わからない。	2
その他	0
合計	26



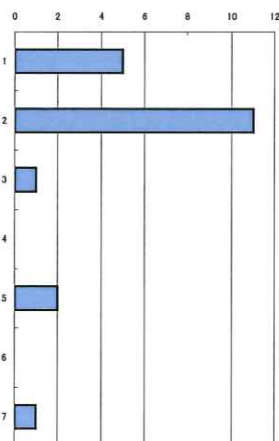
将来子供さんに農業を継がせたいと思いますか。

すでに後継者があとを継いでいる。	2
後継ぎは決まっている。	1
継がせたいが継ぐかどうかわからない。	7
継がせたくない。	3
子供に農業を継ぐ意志がない。	3
子供がいない。	3
わからない。	1
合計	20



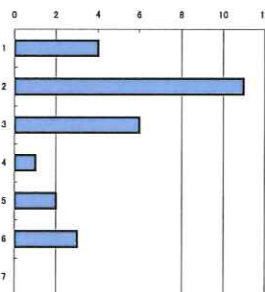
### 所有農地の将来の利用方法

将来にわたって、農地を売ったり、転用するつもりはない。	5
当分の間（10年程度）は農地として利用するが、その後は周囲の状況を見て決める。	11
10年程度以内に、農地の一部は転用したい。	1
〃 農地はすべて転用したい。	0
〃 農地の一部は売却したい。	2
〃 農地はすべて売却したい。	0
わからない。	1
合計	20



### 将来の農業機械や生産施設についての希望

農業機械の共同利用	4
農協等による農業機械の貸し出し制度の設置	11
農協等による農作業の請負	6
ハウスなどの施設化	1
育苗センターやライスセンターの設置	2
農業ゴミや廃棄資材の処理場の設置	3
その他	0
合計	27

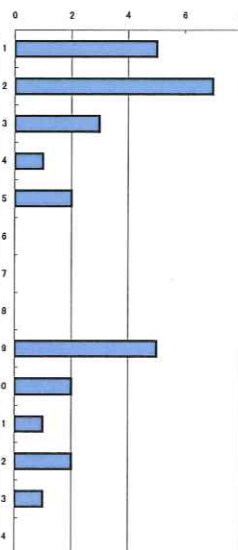


### 流通や出荷についての要望

農産物の集出荷場を広げたり、新築してほしい。	0
農産物を一時保存する保冷库を設置してほしい。	0
農産物の共同加工施設を設置してほしい。	0
市場価格などの情報を提供してほしい。	0
農協の販売体制を強化してほしい。	3
その他	4
合計	7

### 農地（水田）で日頃困っていることや不便

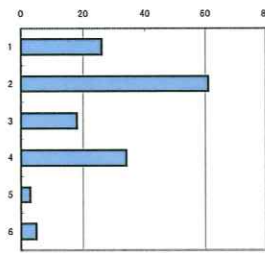
現状のままで特に問題はない。	5
区画が狭くて不整形である。	7
農地があちこちに分散している。	3
農道に接していないので出入りが不便である。	1
農道が狭い。	2
用水量が不足している。	0
用水路が不備で水の掛りが悪い。	0
用水が汚れている。	0
水はけが悪く機械が使用しにくい。	5
雨が降るとよく浸水する。	2
耕土が浅い。	1
土質が悪い。	2
日当たりが悪い。	1
その他	0
合計	29



耕作されている農地は何筆に分かれていますか。	12筆
------------------------	-----

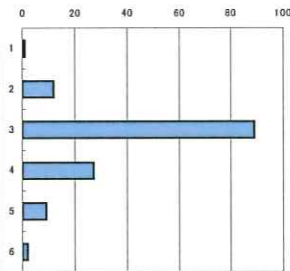
外出する場合

当地区内	26
西神中央方面	61
神戸・三宮方面	18
明石方面	34
三木市方面	3
その他	5
合計	147



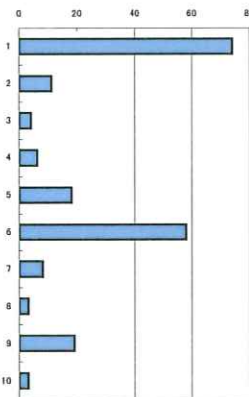
交通手段は何を利用されますか。

徒歩	1
自転車、バイク	12
自家用車	89
路線バス	27
電車・地下鉄	9
その他	2
合計	140



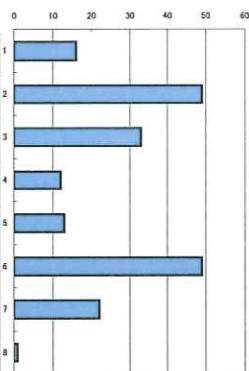
日頃危険や不安を感じておられること

交通事故の危険が多い。	74
ため池や河川など通学路が危険である。	11
防火対策が十分でない。	4
ため池の決壊の危険がある。	6
大雨時に浸水の危険がある。	18
防犯灯（街路灯）が少ない。	58
崖崩れの心配がある。	8
危険物や爆破物の管理が悪い。	3
とくになし。	19
その他	3
合計	204



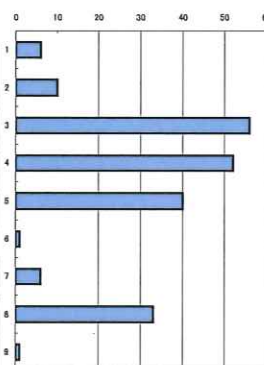
日頃、健康や衛生の面で不安を感じておられること

ほこり、空気の汚れがひどい。	16
蚊、ハエ、ゴキブリ、ネズミが多い。	49
騒音、振動がひどい。	33
日当たり、風通しが悪い。	12
水路等の水質汚濁が進み、悪臭がひどい。	13
空き地の雑草や不法投棄のゴミが不衛生。	49
とくになし。	22
その他	1
合計	195



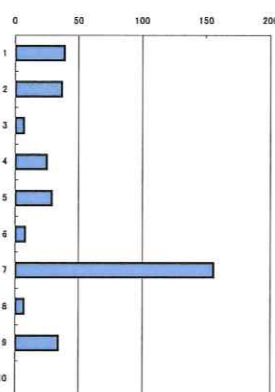
日頃便利が悪くて困っておられること

集落内の道路整備が悪い。	6
集落から中心地に出る道路の整備が悪い。	10
バス等の交通機関の便が悪い。	56
食料、日用品の買物の便が悪い。	52
診療所、医療施設が遠い。	40
保育所、幼稚園が遠い。	1
集落内が狭く、駐車場がない。	6
とくになし。	33
その他	1
合計	205



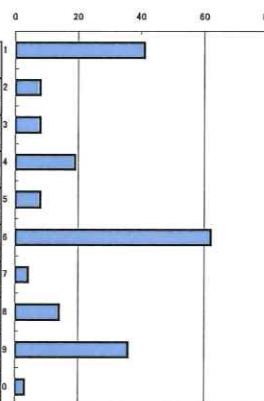
日頃、快適な生活という面で不満を感じる事

子供の遊び場が少ない。	39
公園、運動場、プールが少ない。	37
地区の公民館が古くて手狭である。	7
図書館、資料館等の文化施設がない。	25
青少年に対する教育環境が悪い。	29
広告等が乱雑で、美しい景観とはいえない。	8
ごみの不法投棄が多い。	156
資材置き場や土採り場が多く、見苦しい。	7
とくになし。	34
その他	0
合計	342



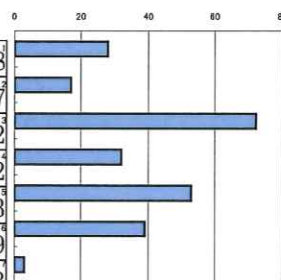
生活環境を快適にするために

公園、運動広場を整備してほしい。	41
集会所を整備充実させてほしい。	8
集落内排水路を整備してほしい。	8
幹線道路を整備してほしい。	19
集落内道路を整備してほしい。	8
街路灯を整備してほしい。	62
共同駐車場を整備してほしい。	4
分家住宅用地を確保して整備してほしい。	14
植栽や花壇を増やしてきれいな町並みに	36
その他	3
合計	203



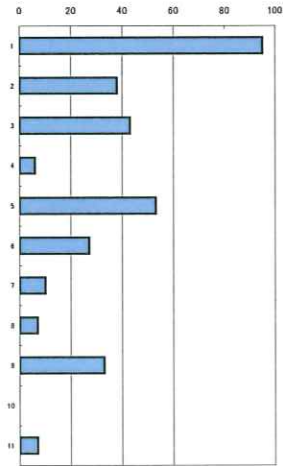
都市化が進むことについて

工場、商店や施設も増え生活が便利になる。	28
就業機会が増え、地区の発展にとって好ましい。	17
車が増えるので、交通事故が心配だ。	72
生活排水により、農業用水が汚れるのが心配だ。	32
昔からの美しい農村風景が破壊される。	53
新住民との関係が心配だ。	39
その他	3
合計	244



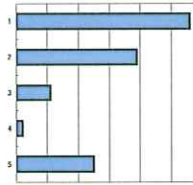
農地が広がり、農業が営まれていることについて

緑が多く自然に恵まれていてよい環境だと思う。	95
自然に親しむのが好きで、よく散歩している。	38
新鮮な野菜類が入手しやすい。	43
貸し農園があれば自分も利用したいと思う。	6
子供にとっても自然に親しむ機会が増えてよい。	53
蚊やハエが発生しやすく、不衛生である。	27
水路が汚れていて、悪臭がする。	10
水路やため池など危険な所が多い。	7
農地として利用されず、荒れて見苦しい	33
その他	0
わからない。	7
合計	319



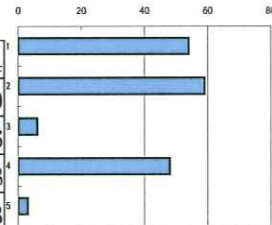
今後の土地利用や地域整備のあり方として

地域の環境を守るためには、農地はすべて保全。	56
転用は一定区域内に限り、他は農地として保全。	39
もっと工場等を誘致し、積極的な開発を進めるべき。	11
その他	2
わからない	25
合計	133



どのような種類の開発であれば認められますか

この地区の住民の住宅（分家住宅を含む）	54
公共施設（公園、運動場、集会施設など）	59
事務所や工場などの建設	6
スーパーや商店などの建設	48
その他	3
合計	170



所有地の新たな利用計画

自己住宅の新築または増築	3	112
分家住宅用地	3	60
工場、駐車場、店舗等の経営	4	260
資材置き場	1	
その他	2	150
合計	13件	582坪

## II 計画策定の基本方針

当地区は総戸数 46 戸の集落で、ほ場整備事業にも神戸市で最も早く着手した地域の整備に関して先進的な地域である。

農家戸数は 19 戸とその率は低く、またほとんどが兼業農家であるものの、引き続いて農地を守っていききたいと思う農家が多く、また、今の農村環境を維持していききたいというのが非農家も含めた大方の住民の願いである。

集落の下水処理についても公共下水に接続する方法で整備されており、生活環境を向上させる整備が着々と実りつつある。

しかし、一方ではほ場整備事業完了農地について、相当の年数が経過したなかで転用を出来るだけ抑制して来た結果、農地転用緩和についての希望も一部であがっている。

これらも含めて、今後の宮前地区の今後の有り方を検討し、快適で住みよい田園環境の広がるまちをめざして「宮前里づくり計画」を策定する。

## III 計画地区の農業の振興に関する計画

### (1) 現況

宮前集落は農家数 19 戸と西区でも比較的小規模な集落であるが、一戸あたりの平均経営耕地面積は約 1ha と西区の平均を上回っている。

今後は農村環境や農業生産機能を維持していくためにも、専業農家 2 戸（主業農家 5 戸）を核として、農地の多面的な機能にも視点を置いた農業を維持していく。

#### 農家数及び形態内訳

総農家戸数	専業農家	第一種兼業	第二種兼業	認定農業者
19 戸	2	5	12	1 戸
	主業農家	準主業農家	副業的農家	
	5	7	7	

主業農家： 農業所得が主で 65 歳未満の農業従事 60 日以上のものである農家  
 準主業農家： 農外所得が主で 65 歳未満の農業従事 60 日以上のものである農家  
 副業的農家： 65 歳未満の農業従事 60 日以上のものである農家

#### 農地面積

単位 a

農地面積	田	畑	樹園地	一戸当たり面積
1909	1882	27	0	100

#### 平成 11 年度作付け等 面積

単位 a

作物	水稻	大豆	小豆	野菜	花卉	飼料	景観	カイハイ	地力	自己保全	調整水田	合計
面積	1144.0	8.9	3	194.1	5.1	8.2	14.9	11.1	199.7	96.7	197.1	1882.8
率	61%	0%	0%	10%	0%	0%	1%	1%	11%	5%	10%	100%

(2) 稲作栽培計画

(ア) 水稻栽培の目標

宮前地区には 1,882a の農地（田）があり，平成 11 年度には 1,144 a の水稻を作付けしている。

水稻栽培品種内訳

単位 a

品 種	どんとこい	コシヒカリ	日本晴	キヌヒカ	モチ	水稻計
計	661.4	214.8	153.7	112.9	1.2	1144.0
率	58%	19%	13%	10%	0%	61%

以前は栽培が容易で，収量が安定している「日本晴」，「中生新千本」を中心に栽培されていたが，量より質，「食味」に重点を置いた水稻栽培が推進された結果，「どんとこい」「こしひかり」を中心とした作付けに移行してきた。

現在，ドントコイが 58%を越しているが，特に平成 11 年度はカメムシの被害で品質が低下したことが影響して，今後はドントコイの作付け割合がやや減り，コシヒカリが増加すると考えられる。

コシヒカリも栽培方法が難しい面があるが，栽培方法を工夫しながら，今後も優良農地を活用して，食味に重点を置いた「おいしい米作り」を追求する。

(イ) 栽培作業の合理化

稲作に対するアンケート調査結果

平成 10 年 3 月現在

現在の水稻作業						現在の作業委託の面積 (a)					
自分で全作業	一部作業委託	全作業委託	集落共同作業	水稻不作付	その他	全ての作業	耕耘・代かき	田植え	刈り取り	乾燥・調整 (JA利用)	乾燥・調整 (JA以外)
11	5	0	0	0	0	0	0	90	155	125	40

水稻作業の希望				希望する作業委託の内容							作業委託先の希望				
自分で全作業	一部作業委託	全作業委託	集落共同作業	全作業 (水管理等含む)	全作業 (水管等除く)	耕耘・代かき	田植え	刈取り	乾燥・調整 (JA利用)	乾燥・調整 (JA以外)	知り合い	集落内農家	集落内受託組織	市農協	その他
9	6	0	1	0	0	0	0	1	3	2	0	0	0	4	0

既に農機具が故障したのを機会にはほぼ全作業を委託している農家もあり，アンケート結果からすると，今後機械の更新時期に徐々に稲作作業が委託化されることが想定される。

今後の方針として，現有の機械の償却を考えて，農作業機械が使用出来なくなった段階で委託の推進を申し合わせて，利用率の低い稲作機械への過剰投資をさける。

稲作作業委託は当面は既存の「平野町ホレータ組織」への委託を図るが，里づくりを機会に，水稻の品種も統一して，防除等について共同作業を検討する。また委託農家が多くなり既存の組織で対応出来にくくなった場合には将来的には集落営農で対応する。

なお、作業委託が進んでも、集落環境の維持とホーラー組織活動の円滑化を支えるために、畦畔・水路の除草等の管理と水稻栽培における日常の水管理等は個々の農家で可能な限り実施する。

### (3) 野菜栽培計画

#### (ア) 野菜栽培の目標

古くから培われてきた露地野菜栽培技術を礎に、都市型農業の利点を活かした農業が行なわれてきたが、社会・経済状況の変化の中で専門的に野菜を生産する農家は減少している。

特に市場に出荷している農家はわずかになっているが、今後は認定農家1戸を中核に、熟年者等の結束により、転作による調整水田や自己保全水田を少しでも活用して軟弱野菜栽培をすすめ、消費地に近いという「地の利」を活かした地場野菜の生産に意欲をそそぐ。

野菜の栽培の現状 (平成11年度転作実績 実面積) 単位 a

作物	大豆	小豆	野菜	花卉	飼料作物	景観作物	合計
面積	8.9	3	194.1	5.1	8.2	14.9	234.2
率	4%	1%	83%	2%	4%	6%	100%

#### (イ) 土づくり

特に有機物の投入により土づくりを進めているが、今後も神戸市の方針に沿って、有機質重点、減農薬栽培に取り組む。

#### (ウ) 栽培品目

ビニールハウスを活用して、生育が早く作業性・収益性に優れるホウレンソウ、キクナ、チンゲンサイ、小松菜を中心に栽培を継続する。

栽培体系は輪作体系を組み合わせ、ビニールハウスの高率利用を維持し、生産費の軽減、所得の向上につなげる。

#### (エ) 販売対策

西農協で経済センター内に農産物直売所が完成していることから、「地元の野菜」として、より新鮮な野菜を周辺の消費者に供給する。また直売所出荷にあわせて熟年者・高齢者を新たな担い手とする営農形態も実践する。

### (4) 後継者・Uターン就農者の確保

現在、積極的な後継者の確保は難しいが、優良農地を農業保全区域に指定し、将来、後継者・Uターン就農者がいつでも就農出来るよう、土づくり等により営農環境の維持につとめる。



#### IV 土地利用計画

##### (1) 農業保全区域

当地区は神戸市でも先進的には場整備事業に取り組み、昭和 43 年に着工、昭和 45 年に換地処分公告を実施した。

ほ場整備事業完了から既に 30 年近く経過しているが、ほとんどの農地が優良農地として活用・保全されている。特に集落の北側に広がる農地は優良な農地として確保されている。

これらのほ場整備事業実施農地を中心に農業保全区域に指定し、今後も優良農地は可能な限り保全し、農業生産を維持するとともに、集落の生活環境の保全にも役立てる。

##### (2) 環境保全区域

集落の南部から春日神社につながる里山を中心に環境保全区域に指定し、ニュータウン等との緩衝帯として保全していく。

##### (3) 集落居住区域

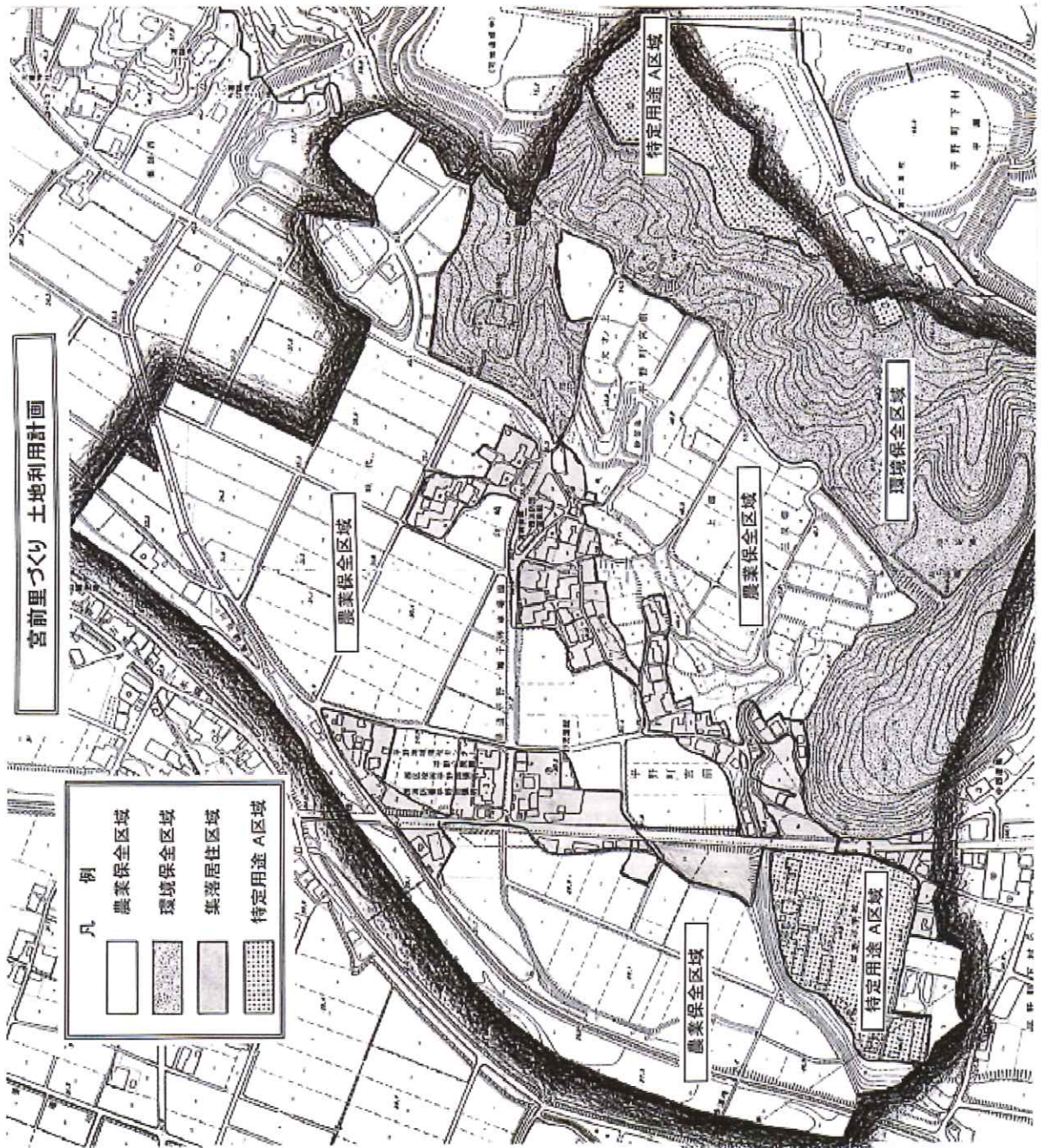
現在住宅が連担している地域と新たに転用を希望されている土地を含んで指定し、今後新たに必要が生じた場合は、計画変更で追加する。

##### (4) 特定用途区域 A

平野小学校、滝川第二高等学校の敷地を当初指定どおり特定用途区域 A として継続指定する。

区 域	面 積	率
農業保全区域	35.3ha	59%
環境保全区域	15.2ha	25%
集落居住区域	5.9ha	10%
特定用途区域 A	3.5ha	6%
合 計	59.9ha	

(4) 土地利用計画図



#### IV 環境整備計画及び活性化計画

##### (1) 国道 175 号線拡幅対策

国道 175 号線拡幅について、周辺への環境対策を検討し、措置を要望する。

また、これまでも集落の中心部を通過しているために農作業等に支障をきたすことがあったが、拡幅することによって今以上に支障をきたすことの無いように、拡幅にあたって地下道の改善整備等、対策を要望する。

##### (2) 道路整備計画

集落内の道路が学童の通学道路となっており、当道路の通過交通を減少させ、安全確保のためにも、宮前・田中線の早期着工を働きかける。

また、父兄が中心となって通学路の草刈を励行し、通学上の安全面の確保をはかる。

##### (3) 公会堂整備計画

現在国道沿いにある「お地藏さん」のお堂が国道の拡幅で立ち退きになることから、お堂の立替が出来ない場合は公会堂に隣接して整備する。なおそれに併せて公会堂を改修して機能性と利便性を高める。

##### (4) 集落下水道整備計画

長年の夢である水洗化も整備されたことから、家庭雑排水については市街化区域並みの生活環境が確保されている。

なお、現在利用されている水路は雨水排水路・農業用水路として続けて活用されることから、これらの水路も管理と美化活用に努める。

##### (5) 河川の清掃

薬師川の清掃をすすめるとともに、安全対策、景観を向上させるための工夫を検討する。

##### (6) ため池の改修と魚釣りマナーの向上

ため池の補強による地域の安全確保と、地区外からの釣り人の、マナー向上による環境の美化を立て看板等で呼びかける。

##### (7) 貸し農園の整備と活用

既存の貸し農園について、ゴミ等の処理についてマナーの向上と美観の向上を申し合わせたうえで、都市住民との交流の手段として活用する。また需要の増加にあわせて駐車場等の付属施設を確保しながら拡張を検討する。

## V 景観保全計画

### (1) 春日神社を中心とした景観の保全

住民の自慢できる場所として一番親しまれている、春日神社とその周辺は、静かで緑も多く落ち着ける場所であるが、半面非行少年等の溜り場となって、治安の悪化も目立っている。

今後、地域の住民の協力により、地域の集いと憩いの場所として下草刈りや清掃等に心がけ、環境の回復をはかる。

また今後、周辺の関係集落と調整をとりながら、鎮守の森とともに「景観形成地域」としての保全・整備も検討する。

### (2) ハイキング・散策コースの整備

明石川沿いの道路をメインに散歩のコースとして、地域の住民や周辺の住民の憩いと健康増進の場となっているが、これらの道沿いでもゴミの散乱している場所もあることから清掃に力を入れて、通学路の整備と併せて散策コースの整備を検討する。

### (3) 通学路周辺の花壇・花畑の整備

アンケートの結果から「道路周辺の花壇の整備について」の要望が非常に高かったことから、皆で力を合わせて、特に周辺の農家等の土地所有者の協力を得て、コスモス等の花を道ばたや転作田に栽培し、平野小学校の学童や住民等がやすらぎを感じられる宮前ならでわの「和みの環境」を創造する。

宮前南部



# 宮前北部



宮前東部



アンケート調査クロス集計

日頃危険だと思っておられることや、不安を感じておられること

	交通	池・川	防火	決壊	浸水	暗い	がけ	危険物	無し	その他
男	43	7	4	4	10	26	3	2	7	2
～20	1	0	0	0	1	2	0	0	1	0
20～30	4	0	0	0	1	3	0	0	2	0
30～39	4	1	1	1	1	2	0	1	0	0
40～49	8	2	0	1	2	5	2	0	2	1
50～59	9	2	2	0	2	8	1	0	0	1
60～69	7	1	1	1	3	2	0	0	0	0
70～	9	1	0	0	0	4	0	1	2	0
女	29	4	0	3	8	31	4	1	12	1
～20	1	0	0	0	0	3	0	0	2	0
20～30	2	1	0	0	2	5	0	0	2	1
30～39	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
40～49	7	1	0	2	1	8	2	0	2	0
50～59	7	0	0	0	0	7	1	1	0	0
60～69	5	0	0	0	3	6	0	0	3	0
70～	6	1	0	1	1	2	1	0	3	0
合計	72	11	4	7	18	57	7	3	19	3

日頃、健康や衛生の面で不安を感じておられること

	汚れ	害虫	騒音	日当	汚濁	雑草	無し	その他
男	10	23	22	8	5	25	11	1
～20	0	3	1	1	0	1	0	0
20～30	0	2	3	0	0	2	2	0
30～39	1	2	3	1	1	2	0	0
40～49	0	5	1	1	0	5	3	1
50～59	2	4	4	1	3	7	4	0
60～69	4	1	4	3	1	3	1	0
70～	3	5	5	0	0	4	1	0
女	6	24	11	5	8	24	11	0
～20	0	2	0	1	0	2	2	0
20～30	0	4	0	0	1	3	2	0
30～39	0	1	0	0	0	0	0	0
40～49	1	7	2	3	0	4	0	0
50～59	0	3	2	0	4	4	4	0
60～69	5	4	5	1	3	5	2	0
70～	0	3	2	0	0	6	1	0
合計	16	47	33	13	13	49	22	1

日頃便利が悪くて困っておられること

	道路	幹線	バス	買物	医療	幼稚	駐車	無し	その他
男	3	5	25	24	22	1	5	17	0
～20	0	0	3	1	1	0	0	1	0
20～30	0	0	1	2	0	0	0	5	0
30～39	0	0	2	3	3	1	0	0	0
40～49	1	2	5	4	4	0	1	4	0
50～59	1	1	7	5	6	0	3	1	0
60～69	1	1	3	4	3	0	0	2	0
70～	0	1	3	4	5	0	1	4	0
女	3	4	29	27	16	0	1	16	1
～20	0	1	4	0	0	0	0	1	0
20～30	0	0	5	3	1	0	0	2	1
30～39	0	0	1	0	0	0	0	0	0
40～49	1	1	5	4	5	0	1	4	0
50～59	1	1	5	9	3	0	0	2	0
60～69	1	0	4	8	3	0	0	4	0
70～	0	1	4	2	4	0	0	3	0
合計	6	9	54	51	38	1	6	33	1



日頃、快適な生活という面で不満を感じておられること

	遊び場	公園	公民館	文化	教育環境	広告	不法投棄	資材置場	なし	その他
男	14	18	4	16	15	5	16	6	14	0
～20	1	2	0	2	1	0	0	0	1	0
20～30	0	1	0	1	0	0	0	0	5	0
30～39	0	1	0	1	3	1	2	2	0	0
40～49	4	6	2	3	3	1	2	2	2	0
50～59	3	5	1	6	2	0	5	1	1	0
60～69	3	3	1	1	1	2	2	0	2	0
70～	3	0	0	1	5	1	4	1	3	0
女	24	19	3	10	13	3	11	1	19	0
～20	0	0	0	2	1	0	1	0	3	0
20～30	2	2	0	1	2	0	2	1	6	0
30～39	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
40～49	6	5	0	4	3	0	2	0	2	0
50～59	7	6	2	1	1	0	4	0	2	0
60～69	5	3	1	1	1	2	2	0	4	0
70～	3	2	0	1	4	1	0	0	2	0
合計	38	37	7	26	28	8	27	7	33	0

生活環境を快適にするために今後どのようなことが必要か

	公園	集会所	排水	幹線	集落道	街灯	駐車場	分家	花壇	その他
男	23	5	7	8	4	27	4	11	17	2
～20	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0
20～30	1	0	0	0	0	3	0	1	3	1
30～39	3	0	1	0	0	2	1	2	2	0
40～49	6	3	1	2	3	7	1	3	3	0
50～59	5	2	4	1	1	6	1	2	4	1
60～69	4	0	0	0	0	2	0	0	2	0
70～	2	0	1	4	0	4	1	2	3	0
女	17	3	1	10	4	34	0	3	19	0
～20	0	0	0	0	0	5	0	0	1	0
20～30	3	0	0	2	1	6	0	1	5	0
30～39	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49	5	1	0	3	0	9	0	1	2	0
50～59	2	1	0	0	2	6	0	1	4	0
60～69	2	1	1	3	1	5	0	0	4	0
70～	4	0	0	2	0	3	0	0	3	0
合計	40	8	8	18	8	61	4	14	36	2

都市化が進み、一般住宅や各種の工場等の進出が見られますが

	便利	就業機会	事故	汚濁	風景	習慣	その他
男	13	10	35	16	26	22	1
～20	0	0	1	2	1	2	0
20～30	2	2	4	2	3	1	0
30～39	0	2	1	2	4	4	0
40～49	3	2	7	2	5	5	1
50～59	2	2	7	2	6	4	0
60～69	2	0	7	3	3	2	0
70～	3	2	8	2	4	4	0
女	14	6	35	16	27	17	1
～20	1	0	3	2	3	3	0
20～30	4	1	4	4	6	3	0
30～39	0	0	1	0	0	0	0
40～49	2	3	9	4	5	2	0
50～59	4	2	5	4	6	5	0
60～69	2	0	7	1	4	3	1
70～	1	0	5	1	3	1	0
合計	27	16	70	32	53	39	2

農地が広がり、農業が営まれていることについて

	環境良	散歩	野菜類	貸し農園	自然に親しむ	不衛生	水路悪臭	危険	荒地	わからない
男	43	17	17	5	24	12	6	4	20	0
～20	2	1	2	1	1	1	0	0	0	0
20～30	4	1	1	0	3	2	0	0	1	0
30～39	2	0	1	0	2	1	2	2	0	0
40～49	10	4	4	0	9	2	1	1	5	0
50～59	10	5	3	2	4	4	2	1	7	0
60～69	7	5	3	1	2	0	0	0	1	0
70～	8	1	3	0	3	2	1	0	6	0
女	50	20	26	2	28	13	4	3	12	0
～20	5	1	2	0	2	3	0	0	0	0
20～30	9	5	6	0	4	3	1	1	1	0
30～39	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0
40～49	8	3	3	0	4	1	0	1	3	0
50～59	11	6	9	1	6	2	2	0	3	0
60～69	8	1	3	1	6	2	1	0	2	0
70～	7	3	2	0	4	1	0	1	3	0
合計	93	37	43	7	52	25	10	7	32	0

今後の土地利用や地域整備のあり方として

	保全	限定転用	開発	その他	分からない
男	28	21	7	3	10
～20	3	0	0	0	1
20～30	1	1	0	0	4
30～39	3	4	0	0	0
40～49	4	7	3	0	0
50～59	9	2	2	1	1
60～69	4	4	0	1	1
70～	4	2	2	0	3
女	28	17	4	0	14
～20	3	1	0	0	2
20～30	1	6	1	0	1
30～39	1	0	0	0	0
40～49	4	3	1	0	3
50～59	7	2	1	0	2
60～69	6	2	1	0	4
70～	5	3	0	0	2
合計	56	38	11	3	24

どのような種類の開発であれば認められますか

	分家	公共用	事務所	ｽﾊﾟｰ	その他
男	28	33	5	21	2
～20	0	3	0	0	0
20～30	2	3	1	1	0
30～39	4	2	0	0	0
40～49	8	9	2	6	0
50～59	7	7	1	6	1
60～69	1	5	0	1	0
70～	5	4	0	6	1
女	26	26	1	26	1
～20	2	1	0	3	0
20～30	5	5	0	4	0
30～39	1	1	0	0	0
40～49	5	8	0	4	0
50～59	5	6	1	5	1
60～69	3	2	0	7	0
70～	5	3	0	2	0
合計	54	59	6	47	3

## アンケート自由意見

<p>土地改良事業等で整備した農地なので、建物やその他の事業等で農地を農地以外に使用して欲しくない。また農地は休耕地であつてもちゃんと管理して欲しい。</p>
<p>休耕地が目立つ。なぜ農業が田をほりだすのか。政策が分からない。          小さな日本で土地を必要とする所も沢山あると思う。ゴミの問題もある。宮前は小さな村であるが問題も沢山ある自治会ではしなくてはいけない事がある。それにはお金がいる。神戸市ももっと気楽な窓口があればいいと思います。警察の窓口もそうである。「小さな事は色々な制約があるので出来ません」の答えが多い。里づくりも農政を窓口で宮前を良くしたいものだ。          なにしる人間関係と家の事情があるので思うように行かない。          一つ一つ何かを出来ればと思ひ自分の仕事と両立するように力を入れていく。</p>
<p>明石側の護岸工事などいらぬ。自然を大切にしたい。          農地改良でも中途半端な改革はいらぬ。市県国の補助金を使って農業だけで生活できる村づくりを望みます。</p>
<p>里づくり計画の策定は結構なことだと思います。しかし小学校周辺を考えると宮前全体で考えてもらえるのか？          近い将来国道 175 号線の拡幅がされますが、明石方面へのバス停へのアプローチはどうなるのか。年老いて行く身で不安でならない。          現状は文教地区と言える環境で申し分ないが、国道 175 号線の拡幅第二神明のバイパス建設と宮前地区から切り離された地区になるような予感がして不安である。</p>
<p>国道沿い及び周辺の農地をもっと多様化を簡単手続で出来るように農道もせまく、事故につながりやすく、道路幅を広くして欲しい農作業中車も止められない。</p>
<p>私にとっては良くもなく悪くもない自然に自由に生活出来る所と思います。希望を言えばきりが無いと。現在の生活が不便なところがあつて最高では無いと思います。出来るものなら街灯がもう少し欲しい。</p>
<p>休耕地対策に疑問あり</p>
<p>当地区では道路の整備が進み、農作業の面でもやりやすくなった。しかし、その反面地区外からの車が入るようになると、ゴミのぼい捨てやスピード違反、違法駐車などでますます交通事故の心配が増しているように思う。</p>
<p>村の話し合いなど皆で集まって話し合ったほうがいい。高校生などの参加も取り入れたほうがいい</p>
<p>農業後継者の育成          貸し農園による非農家と農家の意識差の解消と荒地の解消、農業の集団化、法人化による効率的な農業の運営</p>
<p>田んぼの草をぬいたあと、農道に捨ててあつたりする。土などの塊が付いてたりして夜とかだったら気づかず自転車に乗っている人がこけたりするかもしれない。</p>
<p>自転車や徒歩で行ける距離にスーパーなど日常生活に必要なものが全部そろえられる店が欲しい。          西神行きのバスの便が悪い</p>

宮前里づくり協議会活動経過

名 称	日 程	出 席	検 討 内 容	摘 要
宮前 里づくり協 議会 設立説明会	11年 4月25日	自治会役員 他	協議会の設立について	
宮前 里づくり協 議会設立準備会	6月22日	自治会役員 他	協議会の設立 今後の進め方	
宮前 里づくり協 議会	7月26日	里づくり協 議会役員他	点検マップの作成 アンケート調査の実 施について	
宮前 里づくり協 議会	9月16日	里づくり協 議会役員他	里づくりアンケート結 果等説明土地利用計 画等	
宮前 里づくり協 議会	10月16日	里づくり協 議会役員他	土地利用計画等の 検討	
宮前 里づくり協 議会 営農会議	10月19日	里づくり協 議会役員他	土地利用計画等の 検討	
現地調査	10月25日	会長他	アンケート調査指摘 事項及び農地の利用 状況調査	
宮前 里づくり協 議会	平成12年 2月10日	里づくり協 議会役員他	里づくり計画の検討	
宮前 里づくり協 議会	4月21日	里づくり協 議会役員他	里づくり計画の検討	